

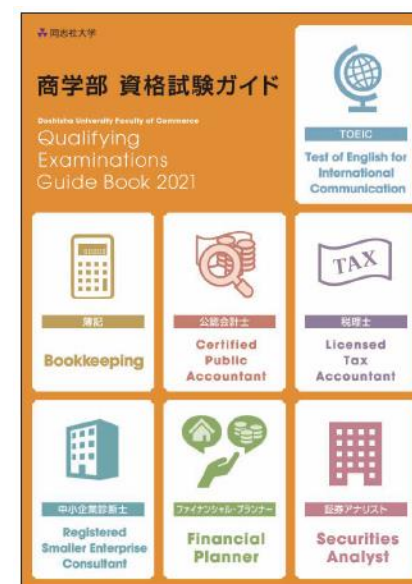


同志社大学 商学部資格試験講座

公認会計士 入門講座ガイダンス2021

2021.5.27[THU] 16:40~17:30

開始までしばらくお待ちください



＼ 詳細はこちら ＼



本日のプログラム

1. 公認会計士とは
2. 公認会計士の業務、キャリア、魅力
3. 監査法人の魅力、キャリア
4. 試験概要と学習プラン
5. 商学部資格試験講座

『公認会計士入門講座』ご案内

6. 質疑応答(Q&A)
7. 入門講座からの編入制度について

- * 終了後はアンケートにご協力ください。
- * このスライドのPDFは最後に共有します。



アフターコロナの世界は
高度専門性を備えた「プロ」の時代の幕開け!!



担当講師

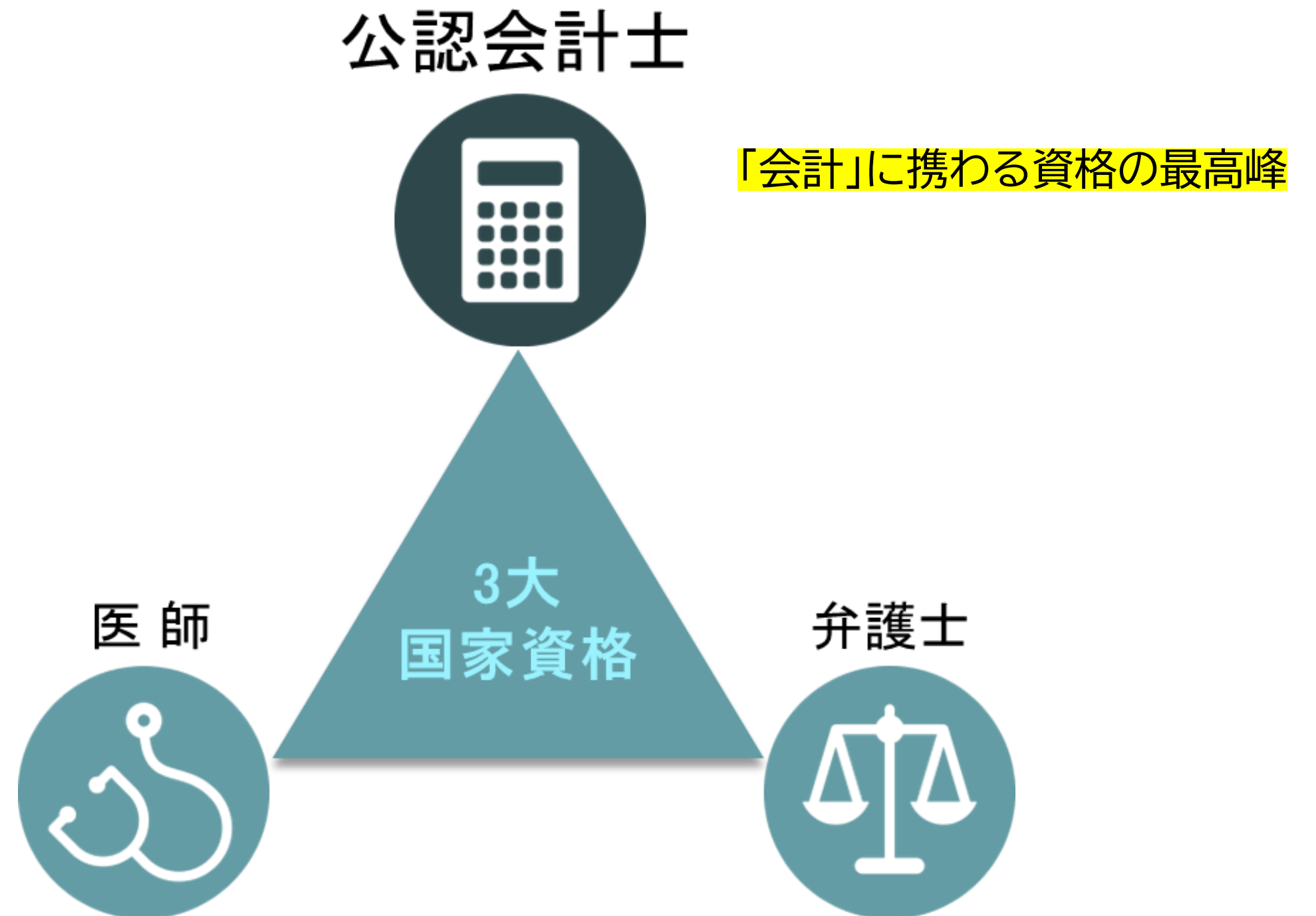
伊藤 弥生

会計士・税理士

「

公認会計士 について

3大国家資格の一角



公認会計士の魅力

公認会計士は、独占業務である「財務諸表監査」をはじめ、専門知識を駆使して様々な分野で活躍することができます。また、企業のグローバル化に伴い、海外で活躍する公認会計士も増えています。

ビジネスフィールドの広さ

- ・財務諸表監査
- ・内部統制監査
- ・税務
- ・経理、経営
- ・IFRS（国際財務報告基準）関連サービス
- ・コンサルティング
- ・セミナー講師
- ・独立開業

安定の収入

平均年収
約 1,000万円！
社会的信用も高く
プライベートも充実！

男女平等！

プロ集団の世界では、給与面や昇進なども、男女や年齢による格差なく平等にチャンスがある！

公認会計士は、登録をすることにより「税理士」・「行政書士」の資格を取得でき、その独占業務も行うことができます！

論文式試験合格後の進路

最初の第一歩

■ 監査法人

会計のプロとして、経営者の相談役として、
様々な会社の経営に携わる

■ 一般企業

上場企業、外資系企業、ベンチャー企業等

■ 金融機関、調査研究所

リサーチ・センター 等

公認会計士の専門的な知識・経験・判断力を活かす

将来の展望

■ 独立開業（会計事務所）

■ 税理士法人

■ 組織内会計士（一般企業や官公庁）

■ 起業（ベンチャー）

■ コンサルティング会社

公認会計士の業務

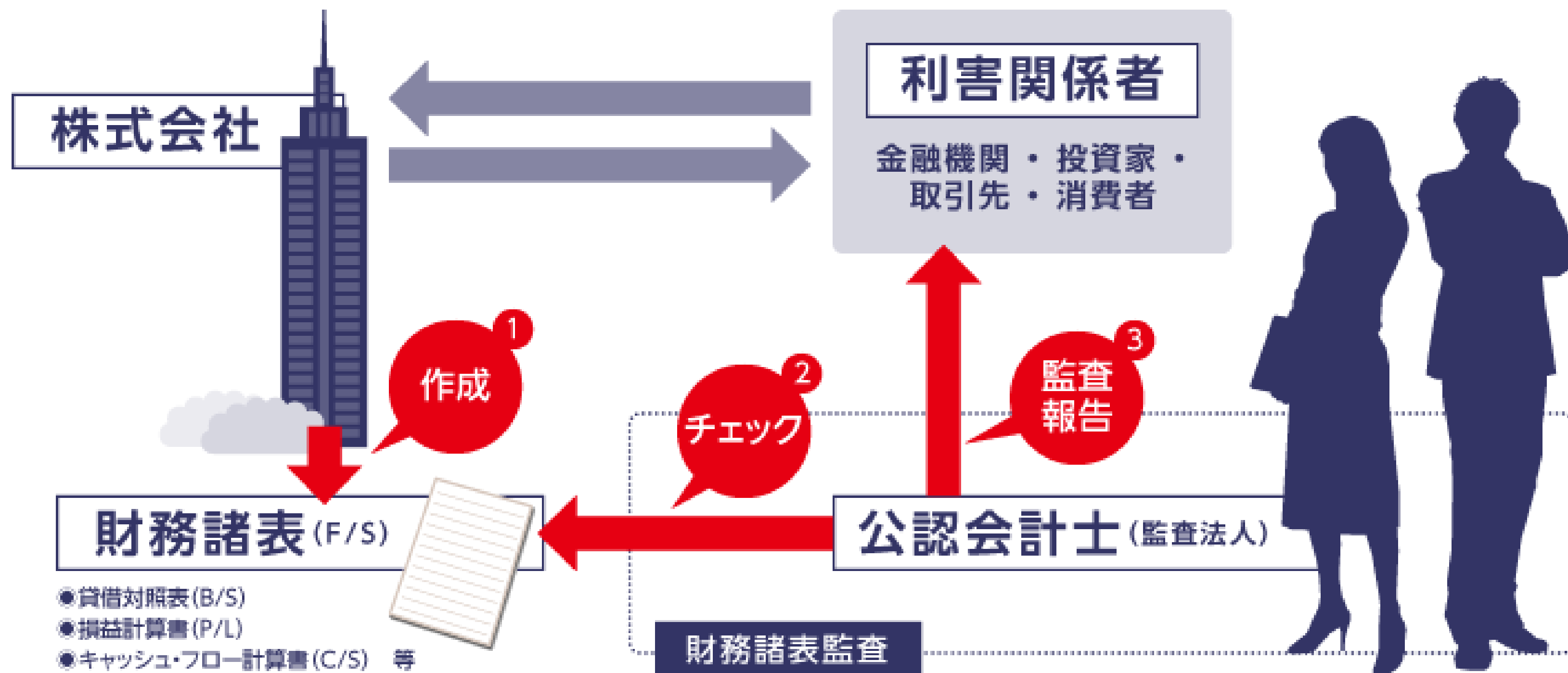
「財務諸表監査」＝独占業務

公認会計士だけに認められた業務。
企業等にとって最も大切な「社会的信用」を支えています。

- 財務諸表が正しいかどうかについてチェックをし、
- 外部の専門家として独立した立場から、
- 監査意見を表明し、財務情報の信頼性を確保する。

○監査は公認会計士がチームを組んで実施します。

各クライアントごとに監査計画をたて、役割分担をして一年間をかけて実施します。



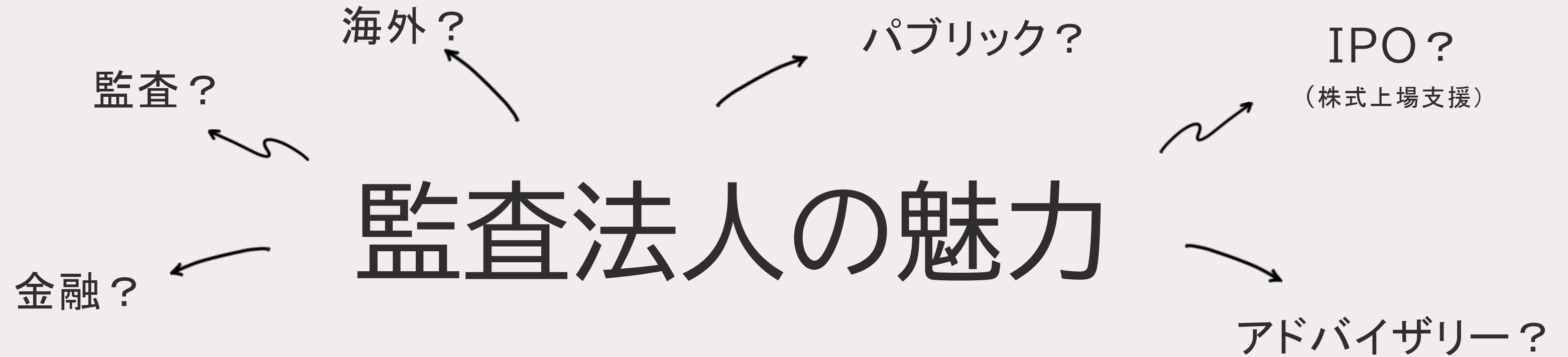
「監査法人とは？」

- ・公認会計士が共同して設立した法人
- ・財務書類の監査又は証明を組織的に行う

4大大手
監査法人
Big4

世界4大会計事務所	国内提携 監査法人
EY  UK : London	EY新日本有限責任監査法人
Deloitte  US : New York	有限責任監査法人トーマツ
KPMG  NL : Amstelveen	有限責任 あずさ監査法人
PwC  UK : London	PwCあらた有限責任監査法人 PwC京都監査法人

▶ 監査法人は世界的にも人気の就職先です。



☑ 価値ある経験が積める

様々な業種のクライアントの会計監査を通じて、会社の内部統制や意思決定の過程を知ることができ、多様なビジネスモデルを理解することができる！

☑ 守備範囲が広がる

監査業務を通じて得た経験や知見は希少で価値が高く、将来の選択肢を広げることができます。また、研修制度も充実しており、スキルを伸ばしながら、進む道を決める環境が整っています。

☑ 充実の研修制度

☑ 働き方を選ぶ

「非常勤」でも時給8,000円以上も！？

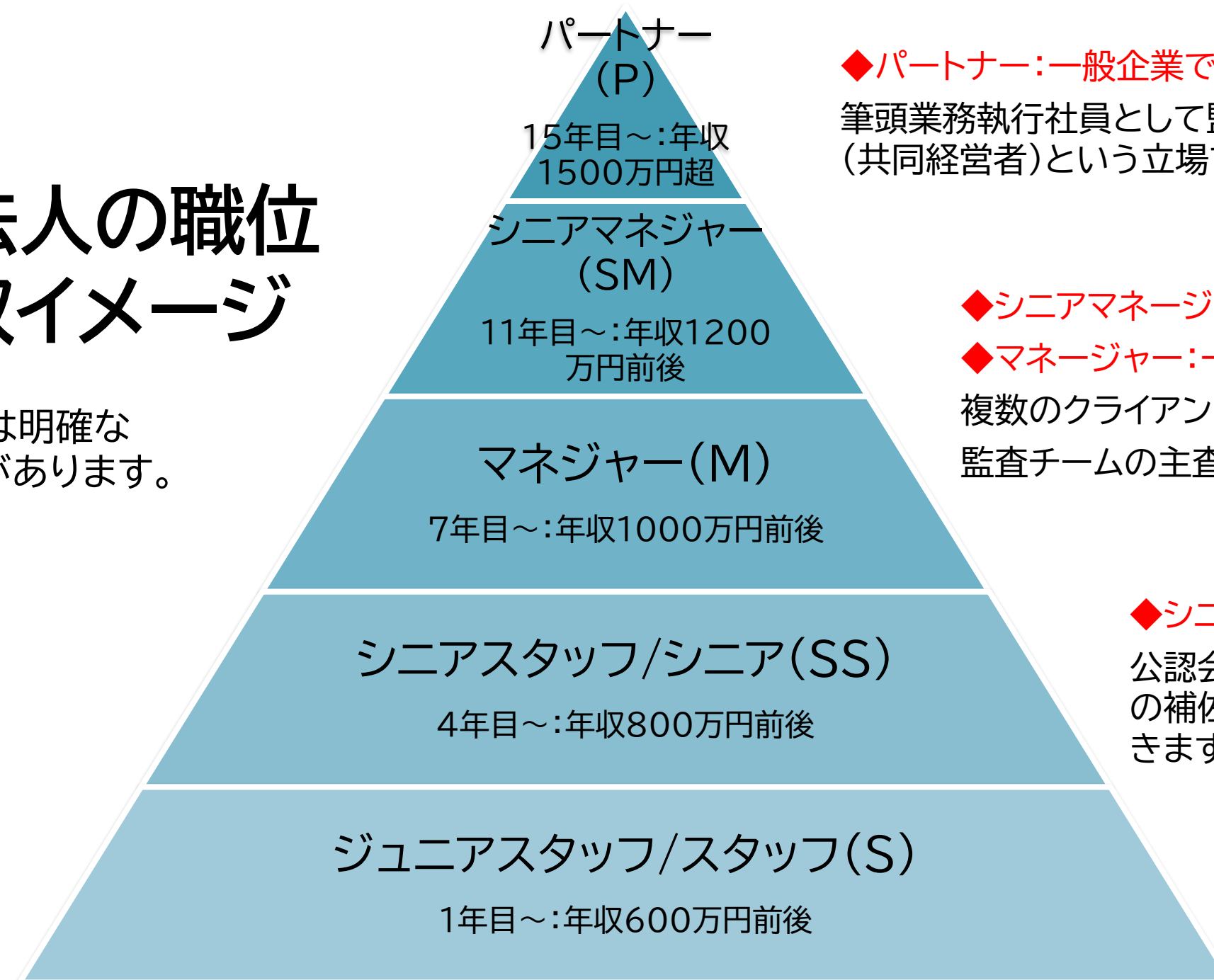
☑ 福利厚生が充実

☑ 男女平等！

監査法人の一般的なキャリアプラン

監査法人の職位 と年収イメージ

監査法人には明確な
昇給フローがあります。



◆パートナー:一般企業で言う社長や役員

筆頭業務執行社員として監査業務などを統括するとともに、監査法人の出資者(共同経営者)という立場で、法人の経営にも関与

◆シニアマネジャー:一般企業で言う部長

◆マネジャー:一般企業で言う係長

複数のクライアントの監査業務全般を統括。

監査チームの主査としてプロジェクト管理や監査調書のレビューを行う。

◆シニアスタッフ:一般企業で言う係長

公認会計士登録後の職位で、ジュニアの指導やマネージャーやパートナーの補佐、クライアントとの窓口の中心となって業務のとりまとめも行っています。

◆ジュニアスタッフ:一般企業で言う一般社員

正式に公認会計士登録が済むまでの約3年間(実務経験や実務補習、修了考査の合格)が目安です。

公認会計士の収入

公認会計士の平均年収（給与所得者との比較）

公認会計士
平均年収 ※1

992万円

給与所得者
平均年収 ※2

503万円

※1 厚生労働省 賃金構造基本統計調査(2017～2019年平均値)より ※2 国税庁 民間給与実態統計調査(2018年)より

公認会計士の初任給

公認会計士
監査法人 初任給 ※1

30～35
万円

全国平均
大卒初任給 ※2

21万円

※1 TACプロフェッションバンク調べ ※2 厚生労働省 賃金構造基本統計調査(初任給)2019年

一般的なサラリーマンと比較すると、約2倍！

国税庁の民間給与実態統計調査※2によると、給与所得者(いわゆるサラリーマン)の平均年収は503万円でした。

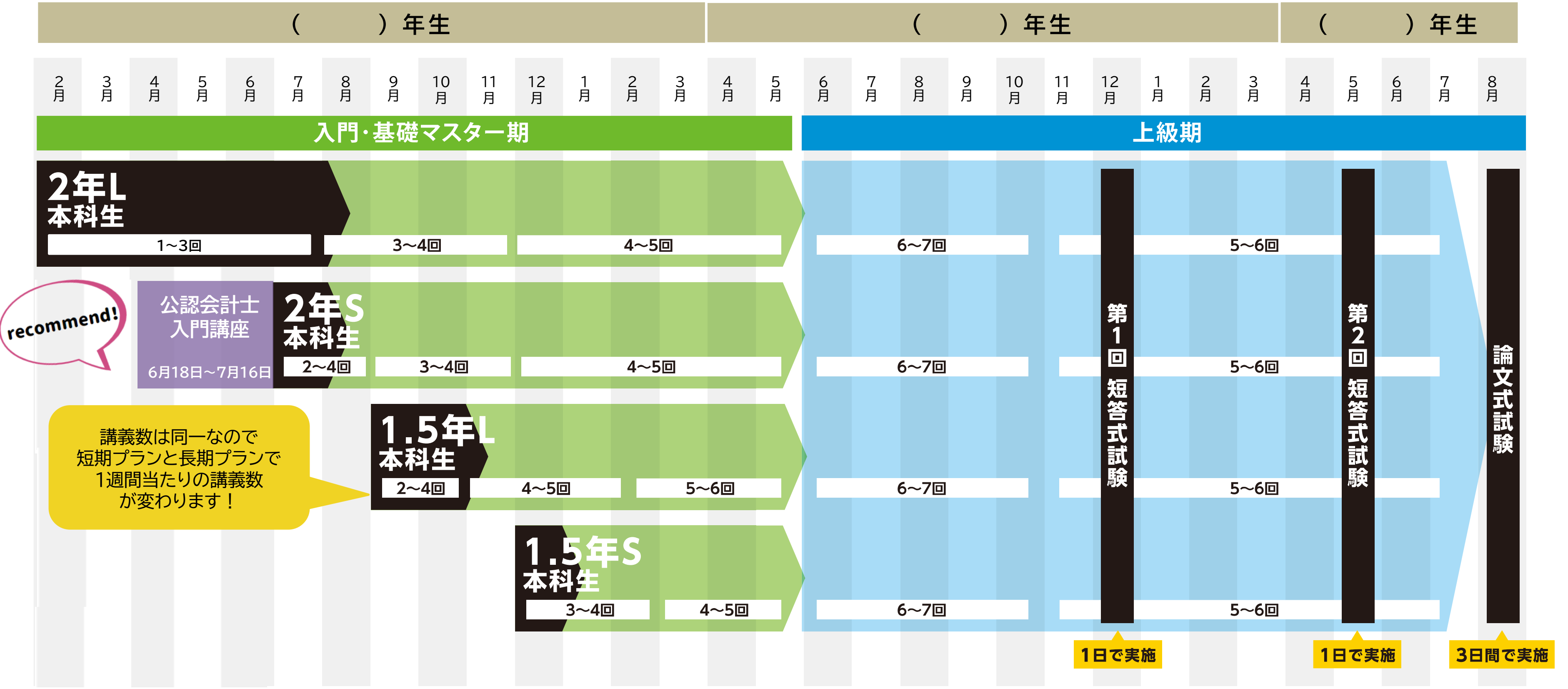
男女別にみると、男性で559万円、女性で386万円となっています。男女の年収差は173万円と大きくなっています。

※1 厚生労働省 賃金構造基本統計調査 職種別(企業規模1000人以上)2017～2019年平均値より算定。職種区分において公認会計士の他に税理士も含まれていますが、両資格とも大きな開きはないと言われているためここで紹介しております。

※2 国税庁 民間給与実態統計調査(正規雇用)2018年より。

公認会計士の学習プラン

～いつ受験する？学習スタートは？～



※学習開始時期別 TACのコース一覧を参照しております。

短答式試験（年2回／12月・5月）

科目	試験時間	出題数	配点
①財務会計論	120分	40問以内	200点
②管理会計論	60分	20問以内	100点
③監査論	60分	20問以内	100点
④企業法	60分	20問以内	100点

※短答式試験合格者は短答式試験が2年間免除！

4割

論文式試験（年1回／8月）

科目		試験時間	出題数	配点
①会計学	財務会計論	180分	大問3問	200点
	管理会計論	120分	大問2問	100点
②監査論		120分	大問2問	100点
③企業法		120分	大問2問	100点
④租税法		120分	大問2問	100点
⑤選択科目/経営学など		120分	大問2問	100点

※一部科目合格制度により、論文合格科目は2年間免除！

3割

公認会計士の難易度の高さの主な要因は「学習量の多さ」です。

短答式試験 合格率

直近3年間で22～25%と
高い合格率で推移

	2017年			2018年			2019年		
	合格率	実質 合格率*	属人 ベース*	合格率	実質 合格率*	属人 ベース*	合格率	実質 合格率*	属人 ベース*
第Ⅰ回 (12月)	15.3%	19.8%	22.6%	13.0%	16.6%	25.7%	12.9%	16.6%	22.6%
第Ⅱ回 (5月)	7.2%	9.7%		13.6%	18.2%		9.4%	12.7%	

※公認会計士・監査審査会ホームページ公表資料に基づく。 ※実質合格率とは、願書提出者数から欠席者数を引いた答案提出者数を母数に、合格率を算出したものです。 ※属人ベースとは、同一年度の第Ⅰ回短答式試験及び第Ⅱ回短答式試験のいずれにも願書を提出した受験者を名寄せして集計したものです。

直近では
約4人に1人が
合格↑

論文式試験 合格率

例年、安定して合格率35～40%で推移

～偏差値52レベル～
ただしライバルは皆、短答式試験を
突破した受験生達です。

	2017年	2018年	2019年
合格率	41.4%	39.4%	39.4%

※公認会計士・監査審査会ホームページ公表資料に基づく。 ※上記合格率は願書提出者数から欠席者数を引いた答案提出者数を母数に合格率を算出したものです。 ※旧第2次試験合格者等の短答式試験みなし合格者を含めます。

例年
約3人に1人が
合格↑

難しい試験ではあるが、その「難しさに価値がある」

公認会計士試験に1回で合格した 「一発合格者」の勉強時間

平均**3,664**時間

- ▶ 1日10時間の勉強を1年間
- ▶ 1日5時間の勉強を2年間

適切な学習期間を確保して、正しいカリキュラムや教材を使用し、コツコツと学習を積み重ねていけば、誰でも合格できる可能性があります。

合格までの学習期間の一般的な目安

- ☑ 大学生の方は1.5年～2年
- ☑ 受験専念の方は1年～1.5年
- ☑ 社会人の方は2年～3年

大学4年間の総時間

35,064時間

あなたはどのように時間を使いますか？

2021年度春学期 同志社大学商学部様 資格試験講座 「会計士入門講座」日程スケジュール

本講座は会計士を目指す方はもちろん、興味はあるが学習方法や内容がよく分からないという方にとっても、安心して受験勉強が始められるように作られた「学習体験型の講座」です。



\ 詳細はこちら /



回 数	日 程	時 間	学 習 内 容①	学 習 内 容②
ガイダンス	5/27 (木)	16 : 40～ 18 : 10	入門講座ガイダンス ※場所は確定次第商学部HPにてご案内します	
第1回	6/18 (金)	16 : 40～ 19 : 55 (5・6講時)	【オリエンテーション】公認会計士の・・・？ ～試験概要・ライフワーク・将来性～	【財務会計】 最重要科目を紐解く
第2回	6/25 (金)		【財務会計】 最重要科目を学ぶ	【財務会計】 最重要科目の知識を実践！ ～財務分析と投資の意思決定
第3回	7/2 (金)		【監査論】 公認会計士の一週間 【監査論】 粉飾はどう見つける？	【経営学・監査論】 上場会社までの道のり 【企業法】 コンプライアンスって何だろう？
第4回	7/9 (金)		【管理会計】 損益分岐点技法を使いこなす	【租税法】 所得税申告書を作ってみよう
第5回	7/16 (金)		【特別パネルディスカッション】 同志社大学現3回生の 公認会計士短答式試験合格者に聞いてみた！	<u>修了試験（確認テスト）</u>

2021年度春学期 同志社大学商学部 資格試験講座

「公認会計士入門講座」編入制度について

「公認会計士入門講座」をご受講し、修了された方には、『修了証』を発行いたします。

修了生は資格の学校TAC公認会計士講座の下記対象コースにスムーズに編入することができ、

特別割引受講料(25%OFF・入会金免除)にて学習していただけます。

◆修了証発行要件

『修了証』は各講座の出席率等の状況を基に講座担当講師が認定し発行します。
詳細は各講座内でご案内します。

◆TAC講座申込方法

TAC関西4校舎(京都校・梅田校・なんば校・神戸校)で学生証と「公認会計士入門講座」の『修了証』をご提示の上、お申込み手続きをしてください。

◆編入制度ご利用有効期限

『修了証』のご提示による特別割引受講料の適用は同志社大学在学中、1回限り有効となります。

TAC 公認会計士講座

【学習開始時期】

公認会計士試験は受験資格の制限はありません。

入門講座修了後、7月中旬より、すぐに学習が開始できます。

※簿記・会計の知識レベルに応じてスタートレベルを選べます。

【対象コース】

各種本科生 ※一括払いまたは分割払いをお選びいただけます。

【受講形態】※通学タイプのみ、Webフォロー標準装備

・教室講座 ・ビデオブース講座

【受講校舎】

・京都校／梅田校／なんば校／神戸校（関西4校舎）



チャット機能

チャットから
質問や相談など
お気軽に送ってください

その他のご案内



＼ 詳細はこちら ＼



同志社大学育英奨学金 — 有意義な大学生活を送る学生を応援します —

同志社大学では、勉学意欲旺盛で、学術・文化・スポーツ・社会貢献などに優れた成果を上げた学生に対して奨学金を給付する制度を設けています。商学部では各種資格試験合格者も対象としており、1人30万円の奨学金を給付するとともに「同志社大学育英賞」を授与しています。努力により誰にでもチャンスがある奨学金制度です。育英賞を目指して、有意義な学生生活を送ってください。

■ 同志社大学育英奨学金(商学部) 資格試験合格者区分 ※2020年度版

選考方法	秋学期に公募
選考基準	次の資格を取得した者。 [公認会計士、税理士、CFP(国際的に通用するファイナンシャル・プランナー)、中小企業診断士、証券アナリスト] ※ただし、休学歴がある者は除く。
選考人数	若干名

※内容は変更になることがあります。詳細については、毎年秋学期に発表される最新の募集要領を確認してください。

ご清聴ありがとうございました。

参加後アンケートに
ご協力ください。

ご希望の方に公認会計士の詳しい情報満載
のパンフレットを無料で送付します。

所要時間

約2分！

▼本日のレジュメはこちら

https://www.tac-school.co.jp/file/tac/west/d_n/k/re.pdf

(参照元資料)TACの強み 公認会計士の魅力(デジタルパンフレット)

https://digibook.tac-school.co.jp/kaikei-leaflet3-2021/book/#target/page_no=1

チャットを

確認してください！



<https://forms.gle/W6g3cKryjrh3sWCu5>

